

令和6年度 シラバス

教科	理科	科目	地学探究	学年	第3学年	学科 種類	普通科文系
単位数	2単位	教科書	なし				
副教材	地学学習帳（愛媛県高等学校教育研究会理科部会） WIN STEP地学基礎（ラーズ）						

学習目標	地学探究では、地学基礎で学習した内容についてより理解を深め、目的意識を持って実習や実験などを行い、地学を探究する能力と態度を身に付けるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付けます。
------	--

キャリア教育の視点	地学探究では、地学基礎で学習した内容を基に、宇宙や地球に対する総合的な見方や考え方を養います。また実習を通して、身近な自然現象に対する関心や探究心を深め、生活の中で起こる自然現象や自然災害について、正しい知識を持って対応することができます。
-----------	--

		学習計画及び内容	考査
1 学 期	4月	第1部 活動する地球 経線の長さの比較	中間考査
	5月	地震波と地球の内部構造 大陸移動 震央と震源の深さの決定	
	6月	P波の初動分布と断層運動 日本付近の震源分布 火成岩の分類	
	7月	第2部 大気と海洋 日射量の測定 雲の発生モデル実験と過冷却	
2 学 期	8月	海陸風 天気の変化	中間考査
	9月	第3部 移り変わる地球 海水の塩分濃度と緯度別蒸発量の関係	
	10月	太陽表面の観察 太陽の運動	
	11月	地球温暖化 海水面積の変化 海水温とエルニーニョの関係	
	12月	第4部 宇宙の構成 HR図の作成 ハッブルの法則	
3 学 期	1月	地学基礎の復習	期末考査

学習の方法	地学学習帳を活用し、原理・法則を学ぶことで、これまでに学んだ内容を理解し定着させていきます。必ず、自分の力で作業を行ってください。そして更に、問題演習を行っていきます。また、日々の暮らしの中で起こる自然現象や自然災害に対して、対応する力を身に付けましょう。
-------	--

評価の仕方	下記の(1)～(5)の項目を、評価の観点別(知識・観察や実験の技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。 (1)授業への取組 (2)ノートの記載内容 (3)観察・実験等 (4)教科書・問題集の問題 (5)中間・期末考査
-------	--

備考	
----	--